



凜として

長江プライド「当たり前のことを当たり前」

令和5年6月22日(木) 第2号(特別号)



体育大会を終えて～次につなげよう!笑顔の架け橋～



去る6月10日(土)に本校グラウンドにおいて、令和5年度長江中学校体育大会が行われました。ご多用の中を、早朝よりお越し頂きましたご来賓の皆様並びに保護者、地域の皆様には心より感謝しております。

今年は梅雨入りも早く、雨続きで練習が十分にできず、本番がとても心配されました。しかし、御来場の皆様の温かい応援もあり、生徒達はとてもよく頑張ってくれました。当日は天候にも恵まれ、生徒会のスローガン「絆～みんなで築く笑顔の架け橋～」に込められた思いに溢れ、最後まで一生懸命演技や競技する姿に感動を覚える気持ちのいいひと時となり、たいへん嬉しく思っております。どの学級も生徒会スローガンや学級旗に込められた願いや想いが感じられ、その目指すべきところは十分達成されたと思います。本当にありがとうございました。

【開会の挨拶から】

・・・体育大会の素晴らしさは、「心を一つにして団結すること」、また、「若者の発火としたエネルギーを発揮すること」にあると思います。全身全霊を傾けて競技してください。一つ一つの競技、ひいては一つ一つの動作に心を込めていきましょう。その先にきっと皆さんの「強く結ばれた絆や忘れがたい笑顔」が待っているものと思います。期待しています。・・・



3年生の皆さんは最後の体育大会ということで、全ての演技や競技を一所懸命取り組む姿を通して、1,2年生をよく引っ張ってくれました。とりわけ応援合戦(練習を含め)や学年種目は印象深く、君たちの体育大会にかける想いを強く感じました。練習段階からお互いが刺激し合い高めていった結果が、当日の成果としてよく表れていたように思います。1,2年生もそれによく応えて、競技をしっかりと盛り上げてくれました。今日ここに「笑顔の架け橋」が築かれ、新たな絆がここに生まれたと思います。そして、皆さん一人一人の頑張る姿から、私自身大きな感動と元気、温もりをいただきました。心地よい時間・空間でした。ありがとう。

皆さんは、体育大会の練習や準備、大会当日を通して、「絆」、「団結」、「リーダ

ーシップ」や「協力」の大切さなど、各自が学んだことをこれからの学校生活や家庭生活、地域の中で活かしてください。全校生徒203人、教職員、保護者、地域の方々の絆が一層深まるよう、お互いが相手意識(情、温もり等)を高め、みんなの笑顔のために“笑顔の架け橋”を次へとつないでいきましょう。

★夢や志を抱き、これからの学校生活(学習、部活動等)を学年内、学年間の絆を大切に取り組んでいこう。

どんなことであろうと
人が真剣に取り組む姿は
たとえようもなく美しい
ひたすら
一つのことに熱い心でぶつかり
生命を燃焼させてゆくということが
その後の人生を方向づけるのかもしれない



「山は山を必要としない。しかし、人は人を必要とする。」(西洋のことわざ)

絆

絆とは、もともと犬や馬をつなぐ鎖や紐のことです。転じて人と人との強い結びつきを意味するようになったものだと言われています。すなわち「きずな」と読んで、情愛(情けや愛情)のこもった関係を示します。実はこの漢字にはもう一つ読み方があります。「ほだし」と読みます。

“情にほだされる”という言葉もあるように、互いの自由を束縛する関係という意味になります。すなわち、自分勝手な、自己中心的ではなく、お互いが少しずつ我慢するといった他者との関係を理解しなければなりません。「ほだしのない、束縛のない絆はあり得ない」ということです。(R5.5.19 生徒総会の挨拶から)

生徒会のスローガン「絆」を実現するために、まずは次の二つの掲示物(校長室前、校門)をこの一年意識して学校生活を送って欲しいと願っています。

「相手意識を持つ、みんなが助け合いたい」
「五事(ご)を正す」 (近江聖人 中江藤樹)

貌(ぼう)：和やかな顔つきをし
言(げん)：思いやりのある言葉で話しかけ
視(し)：澄んだ目で物事を見つめ
聴(ちよう)：耳を傾けて人の話を聴き
思(し)：真心を込めて相手のことを思う

「言葉一つで人を動かす」
(マザーテレサのメッセージ)

思考に気をつけなさい。
それはいつか言葉になるから。
言葉に気をつけなさい。
それはいつか行動になるから。
行動に気をつけなさい。
それはいつか習慣になるから。
習慣に気をつけなさい。
それはいつか性格になるから。
性格に気をつけなさい。
それはいつか運命になるから。